

モン太とつちまるの植物日記

「冬の赤い実」

冬の広場は殺風景に思えますが、じっくり見てみるといろいろな発見があります。

モチノキは雌雄異株で、雌株は径1cm程度の赤い果実をたくさんつけています。

また、コナラの木のまわりを見てみると、ドングリが落ちていますが、先端部から根を出しているのがわかります。



モチノキ(雌株)

平成30年1月7日撮影 広場
鳥が赤い実を食べにきます。

コナラ ドングリの発根

平成30年1月7日撮影 広場
ドングリの殻の中にあるのが子葉
です。これが栄養分となります。

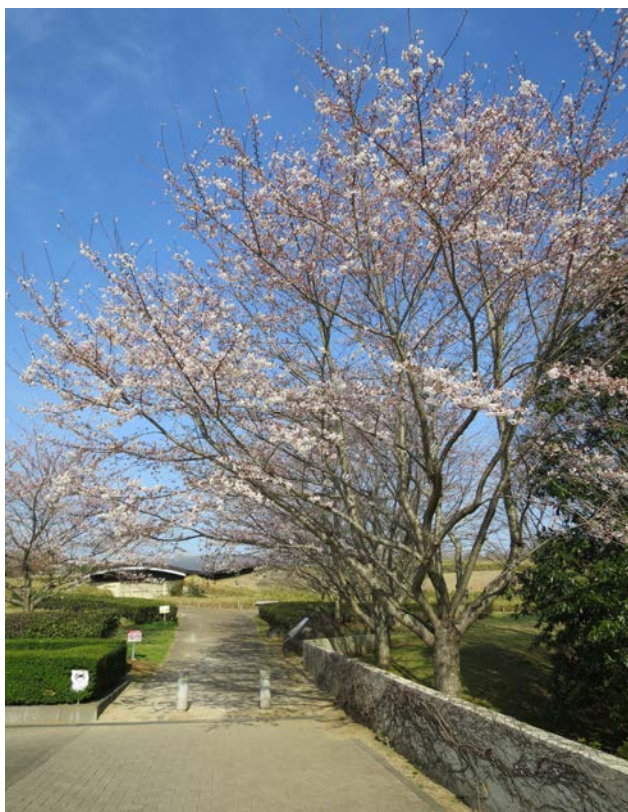


ただ今たそがれています
今年もよろしくお願いします!

モン太とつちまるの植物日記

「サクラが開花しました！」

急に暖かくなり、サクラが一気に開花しました！
暖かい日が続きそうですので、すぐに満開になりそうです。
また、つくし(スギナ)も顔を出し、春を感じる季節になりました。
週末に上高津貝塚にピクニックに来ませんか？



ソメイヨシノ
平成30年3月27日撮影



中に緑色の胞子が
あるのがわかります



スギナ 平成30年3月27日撮影 広場
つくしはスギナの胞子茎で、ツクシと緑の細い葉は地下でつながっています。
開いたつくしをふると緑色の胞子が飛びます。つくしは食べられます(油いためなど)。

モン太とつちまるの植物日記

「新緑の季節になりました！」

あっという間に新緑の気持ちのよい季節になりました。
広場の木々は新しい葉をつけています。
また、いろいろな花が咲き始め、一年の中でも見どころ満載の
時期です。遊びに来てください！



トチノキ

平成30年4月28日撮影
上に向かって白い花が
咲いていきます



ホオノキ

平成30年4月28日撮影
白い花びらはとても厚く、
いい匂いがします



ヤマボウシ 平成30年4月28日撮影
白い花に見えるものは総苞片で、
丸いものが小花の集まり



オニグルミ

平成30年
4月28日撮影
尾状の花が
ついています

植物パネルを新調したよ！



モン太とつちまるの植物日記

「今年は成長が早いです！」

梅雨に入り、植物が一気に成長しています。
カラムシ畑では身長ほどまでよく育ちました。長い繊維を採ることができます。
秋に実のなる植物もぞくぞく大きくなっています。クリの花粉は香りが強く、スギ花粉と違って風ではなく虫によって運ばれます。いろいろな昆虫が集まっているようです。



カラムシ 平成30年6月2日撮影
今年は成長が良いです。講座で茎から繊維をとります。



カラムシの繊維
平成30年6月16日撮影
茎の表皮を剥ぎ取って、綺麗な白い繊維（靱皮繊維）を取り出します。



クリの花と虫 平成30年6月2日撮影
クリの花粉は虫によって運ばれるため、スギ花粉と違って、あまり飛散しません。



クルミの実
平成30年6月16日撮影



モン太とつちまるの植物日記

「酷暑の夏」

広場ではクルミの実が落ち始めました。今年はたくさん実がついているので楽しみです。またトチノキの実も大きくなっているので、8月終わりから9月には拾うことができます。

今年はとても暑く、広場の散策は難しいかもしれませんが、資料館では新しい展示が始まり、涼しく見ることができます！



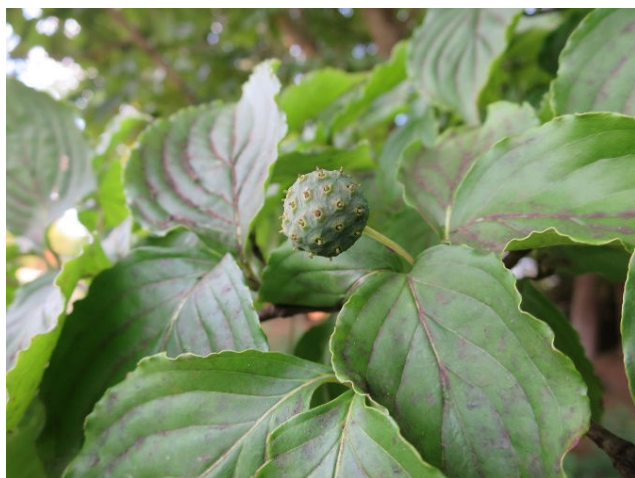
ホオノキの果実

平成30年7月24日撮影
トゲトゲした大きい果実がついています。
もう少しすると赤くなります。



トチノキの果実

平成30年7月24日撮影
茶色の果実がどんどん大きくなってきました。



ヤマボウシの果実

平成30年7月24日撮影
今は緑色ですが、赤くなると食べごろです。



ヒメグルミの果実

平成30年7月24日撮影
緑色の部分を腐らせたのち、
中の実を取り出します。



モン太とつちまるの植物日記

「マメ科の植物」

広場で見られるマメ科の植物に、ネムノキやハギがあります。ネムノキは、マメ科ネムノキ属の高木で、初夏にピンク色の花をつけます。今は、豆に良く似た緑色の果実がぶらさがっています。ハギは、秋の七草でピンク色の花をつけているのが見られます。

まだ暑い日がありますが、広場では秋が感じられ始めましたよ。



土浦市イメージキャラクター つちまる

ネムノキ



ネムノキの花

平成30年6月16日撮影

ピンク色の筆を広げたような花です。ほとんどが雄しべです。

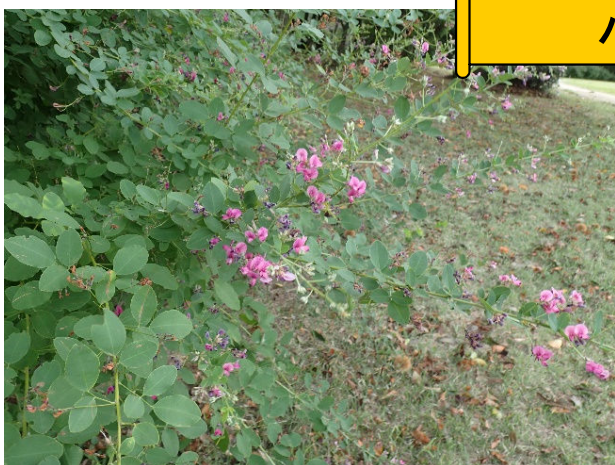


ネムノキの果実

平成30年8月24日撮影

豆にそっくり！これはだんだん茶色になります。

ハギ



ハギ

平成30年8月24日撮影

小さなピンク色の花がたくさんついています。



ハギの花

平成30年8月24日撮影

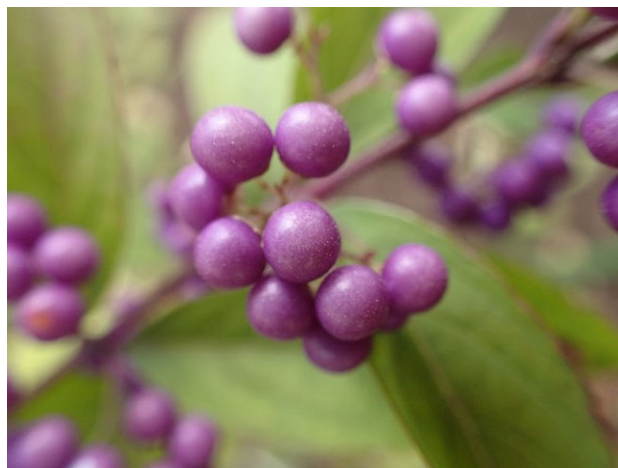
ダイズやアズキの花の形と似ています。



モン太とつちまるの植物日記

「縄文時代の弓の材料」

縄文時代の狩猟道具の一つに弓矢があります。
その弓は、イヌガヤやニシキギ属(マユミなど)、カバノキ属(ミズメなど)、ムラサキシキブ属(ムラサキシキブやコムラサキなど)の樹木が使われていました。弓に適した弾力のある樹木です。資料館玄関先には、まだ小さいですが、マユミとコムラサキをみることができます。弓を作るには株立ちの方が適していたと思われます。コムラサキは駄菓子のような紫色の果実をつけています。



コムラサキ 平成30年9月23日撮影
コムラサキはムラサキシキブよりも葉が小さく、先半分に鋸歯があることが特徴です。果実は秋に紫色に熟します。



マユミ 平成30年9月23日撮影
名前の通り、マユミ(真弓)は古来から弓の素材とされてきました。秋に赤い果実が見られます。



モン太とつちまるの植物日記



「秋の目立たない木の实」

広場では、クヌギやコナラ、シラカシ、アラカシなどのドングリがたくさん拾えるようになりました。

秋の木の实と言えばドングリですが、他にもムクノキやエノキも小さな実をつけています。目立たないので見過ごしがちですが、探してみてください。鳥たちも好きな実で、寄ってきているかもしれません。



ムクノキ 平成30年10月27日撮影
エノキと似ていますが、1cmほどの丸い黒紫色の実がつきます。食べることができます。



コナラ 平成30年10月27日撮影
今年のコナラは豊作です。

シラカシ

平成30年10月27日撮影
ドングリが茶色に色づいてきました。
広場にはいろいろな**バッタ**がいます。



【ドングリ拾いの注意点】

- ①穴のあいていない新鮮で綺麗なものを拾う
- ②洗ったときに浮くものは中に虫がいるので捨てる
- ③数分ゆでて虫を処理する
- ④よく乾燥させる

モン太とつちまるの植物日記

こうよう おうよう かつよう
「紅葉・黄葉・褐葉」



葉が、赤や橙色に色づくことを紅葉，黄色になることを黄葉，褐色になることを褐葉といいます。葉が綺麗に色づく条件は温度や光，湿度，立地，気象，樹齢などによって変化します。

今年は台風や大雨による塩害の影響か，残念ながらイロハモミジの葉が紅葉せず枯れてしまっているものも多く見られます。ですが，ケヤキやヤマボウシ，クヌギなどの紅葉も見られます。



イロハモミジ 平成30年11月25日撮影
塩害の影響か，葉が枯れてしまっています。



広場で見られる色づいた葉っぱ
平成30年11月25日撮影



ヤマボウシ(赤)とアベマキ(黄)の紅葉
平成30年11月25日撮影
広場
アベマキやクヌギ，コナラ，クリなどの葉は黄色や褐色に色づきます。

モン太とつちまるの植物日記

「ウメの開花」

寒い日が続きますが、考古資料館駐車場入口のカンコウバイが開花しました！花が目立たないので気づきにくいですが、綺麗なピンク色をしています。また、冬の花と言えば、「ツバキ」です。生垣によく見られるカンツバキが綺麗に咲いています。

資料館では講座作品展と土偶の雛人形も展示していますので、ぜひ遊びに来てください。今年の干支のドングリ亥がお出迎えしています。



カンコウバイ(寒紅梅)

平成31年1月27日撮影 駐車場
紅色の八重咲きです。



ドングリで作ったイノシシ

平成31年1月27日撮影



カンツバキ(寒椿)

平成31年1月27日撮影 駐車場
サザンカとツバキの交雑種といわれています。ヤブツバキの花より小ぶりで、紅色、八重咲きです。冬の季語になっています。